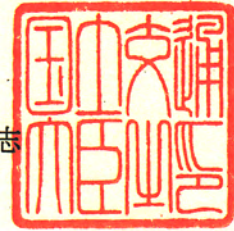


認定書

国住指第 348 号
平成 24 年 5 月 29 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 前田 武志



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0613
2. 認定をした構造方法等の名称
給水管・排水管・ケーブル／膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂・炭酸カルシウム系シール材充てん／床準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

給水管・排水管・ケーブル／膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂・炭酸カルシウム系シール材充てん／床準耐火構造／貫通部分

2. 申請仕様の寸法等：

申請仕様の寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法等

項 目		申 請 仕 様
開口部	形状	円形(φ160mm以下)
	面積	0.0201m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管・ケーブルの断面積の総合計の割合)		61.6%以下
貫通する床の構造等		建築基準法施行令第115条の2の2第1項第一号の規定に基づく準耐火構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分)厚さ 284.5mm以上

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に、配管・ケーブルの構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項 目	申 請 仕 様	
充てん材	材料	膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂・炭酸カルシウム系シール材
	形状	パテ状
	密度	
	組成 (質量%)	
	使用箇所 (使用量)	蓋金具内部に密に充てん (床面から高さ40mm以上)

表3 申請仕様の配管・ケーブルの構成材料

項目	申請仕様					
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	1本あたり	38mm ² 以下			
		総合計	114mm ² 以下(銅等の金属類)			
	総有機量	0.84kg/m以下				
	導体(又は芯線)の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質				
	絶縁体	ポリエチレン系	厚さ	1.2mm以下		
		架橋ポリエチレン系				
		塩化ビニル系				
ゴム系						
介在(円形に調整する充てん材)	紙、ジュート、ポリプロピレン、又はなし					
シース	ポリエチレン系	厚さ	1.7mm以下			
	塩化ビニル系					
	ゴム系					
給水管・排水管(以下、配管という)	金属管	外径	厚さ	銅管：銅及び銅合金継目無管(JIS H 3300)	φ53.98mm以下	2.8mm以下
				配管用炭素鋼管(JIS G 3452)	φ48.6mm以下	3.5mm以下
				圧力配管用炭素鋼管(JIS G 3454)	φ48.6mm以下	5.1mm以下
				水配管用亜鉛めっき鋼管(JIS G 3442)	φ48.6mm以下	3.5mm以下
				高圧配管用炭素鋼管(JIS G 3455)	φ48.6mm以下	7.1mm以下
				高温配管用炭素鋼管(JIS G 3456)	φ48.6mm以下	7.1mm以下
				配管用合金鋼管(JIS G 3458)	φ48.6mm以下	7.1mm以下
				ステンレス鋼サニタリー管(JIS G 3447)	φ50.8mm以下	1.5mm以下
				一般配管用ステンレス鋼管(JIS G 3448)	φ48.6mm以下	1.2mm以下
				配管用ステンレス鋼管(JIS G 3459)	φ48.6mm以下	7.1mm以下
	塩化ビニル管	外径	厚さ	硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、VP管・HIVP管)	φ32mm以下	3.9mm以下
				水道用硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6742、VP管・HIVP管)		
				耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776、HT管)		
	断熱ドレンホース		外径	厚さ	φ37.0mm以下(内径φ25.0mm以下)	6.0mm以下
外層・内層：ポリ塩化ビニル樹脂製 断熱層：ポリエチレンフォーム		φ22.0mm以下			1.2mm以下	
可とうポリエチレン管		外径	厚さ	φ22.0mm以下	1.2mm以下	

つづく

つづき

被覆材 (後付タイプ) あり又はなし	ポリエチレンフォーム (JIS A 9511)	外径	-	厚さ	20mm以下 ※1 10mm以下 ※2
	ポリプロピレンフォーム				
	難燃ポリオレフィンフォーム (酸素指数: 21以上)				
	ポリスチレンフォーム (JIS A 9511)				
	硬質ウレタンフォーム (JIS A 9511)				
	フェノールフォーム (JIS A 9511)				
	合成ゴム系フォーム (ニトリルゴム、スチレンゴム、クロロプレンゴム、エチレンプロピレンゴム)				
	グラスウール (JIS A 9504)				
ロックウール (JIS A 9504)					

※1) 金属管に使用する被覆材厚さは20mm以下とする。

※2) 塩化ビニル管に使用する被覆材厚さは10mm以下とする。

4. 申請仕様の副構成材料：

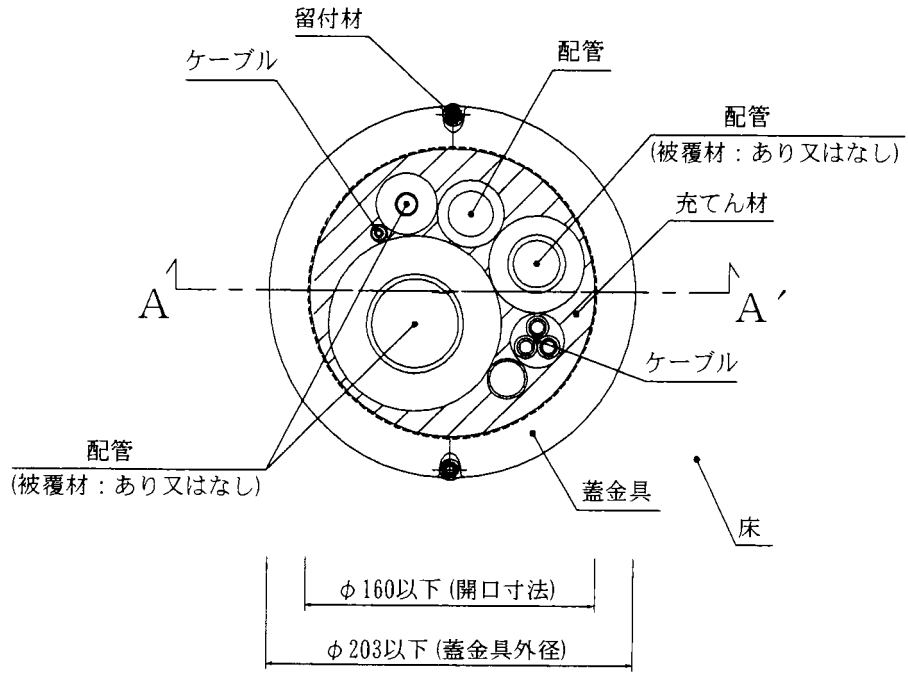
申請仕様の副構成材料を表4に示す。

表4 申請仕様の副構成材料

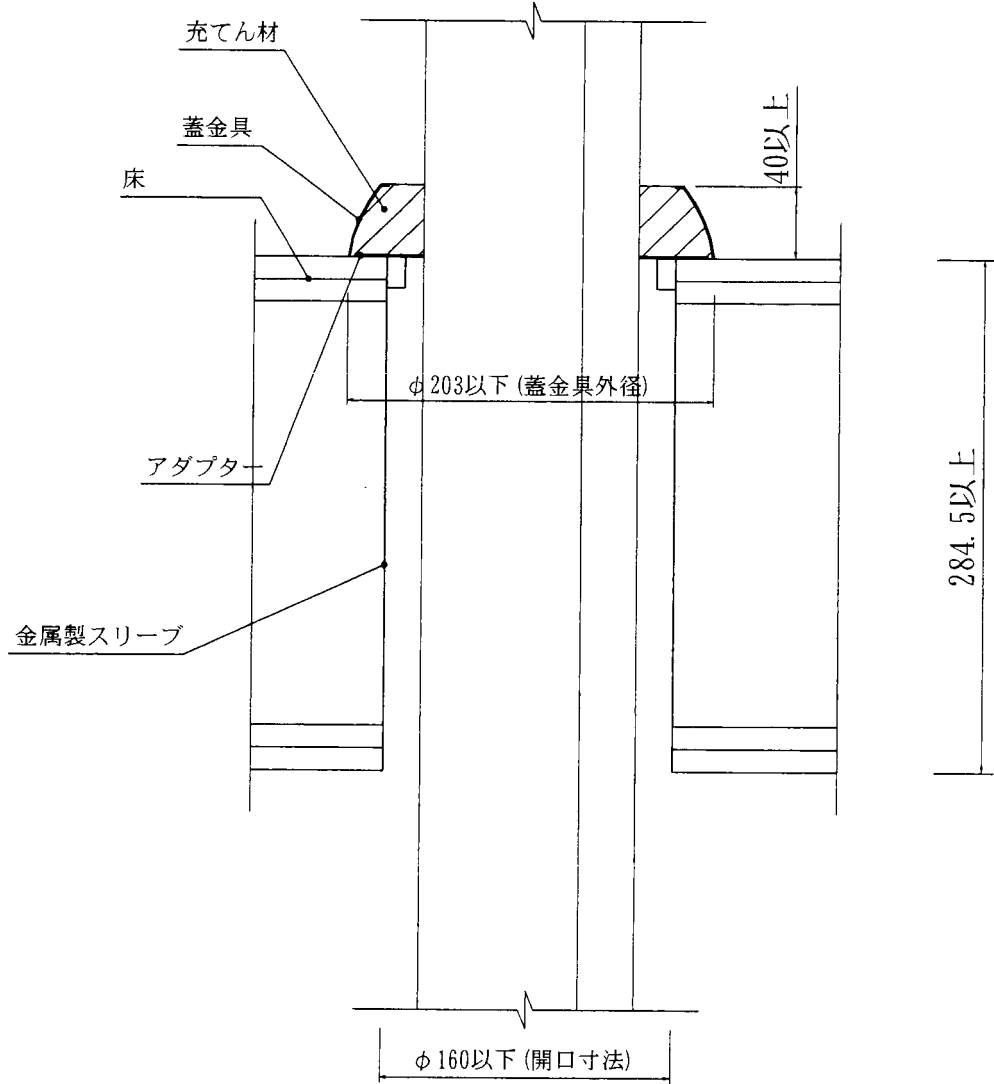
項目	申請仕様	
蓋金具	材料	①～⑤の一 ①熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ②熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) ③クロムめっき鋼板 (JIS G 7122) ④熱間圧延軟鋼板 (JIS G 3131) ⑤冷間圧延鋼板 (JIS G 3141)
	寸法	厚さ1.0mm以上、高さ40mm以上 (開口寸法による、図2参照)
アダプター (あり又はなし)	材料	①～⑤の一 ①熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ②熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) ③クロムめっき鋼板 (JIS G 7122) ④熱間圧延軟鋼板 (JIS G 3131) ⑤冷間圧延鋼板 (JIS G 3141)
	寸法	厚さ0.8mm以上 (外径等は開口寸法による、図2参照)
	使用箇所	必要に応じて、蓋金具内の充てん材脱落防止材に用いる
金属製スリーブ	材料	①～⑥の一、又はなし (中空床の場合、①～⑥の一) ①熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ②熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) ③クロムめっき鋼板 (JIS G 7122) ④熱間圧延軟鋼板 (JIS G 3131) ⑤冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) ⑥ブリキ (JIS G 3303)
	寸法	厚さ0.25mm以上、長さ284.5mm以上、外径160mm以下 (開口径による)
留付材	材料	タッピンねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製
	寸法	M4×25mm以上
	使用箇所	蓋金具と床面との留付用 (2箇所)

5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。



平面図



A-A' 断面図

(中空床等の例)

図1 構造説明図

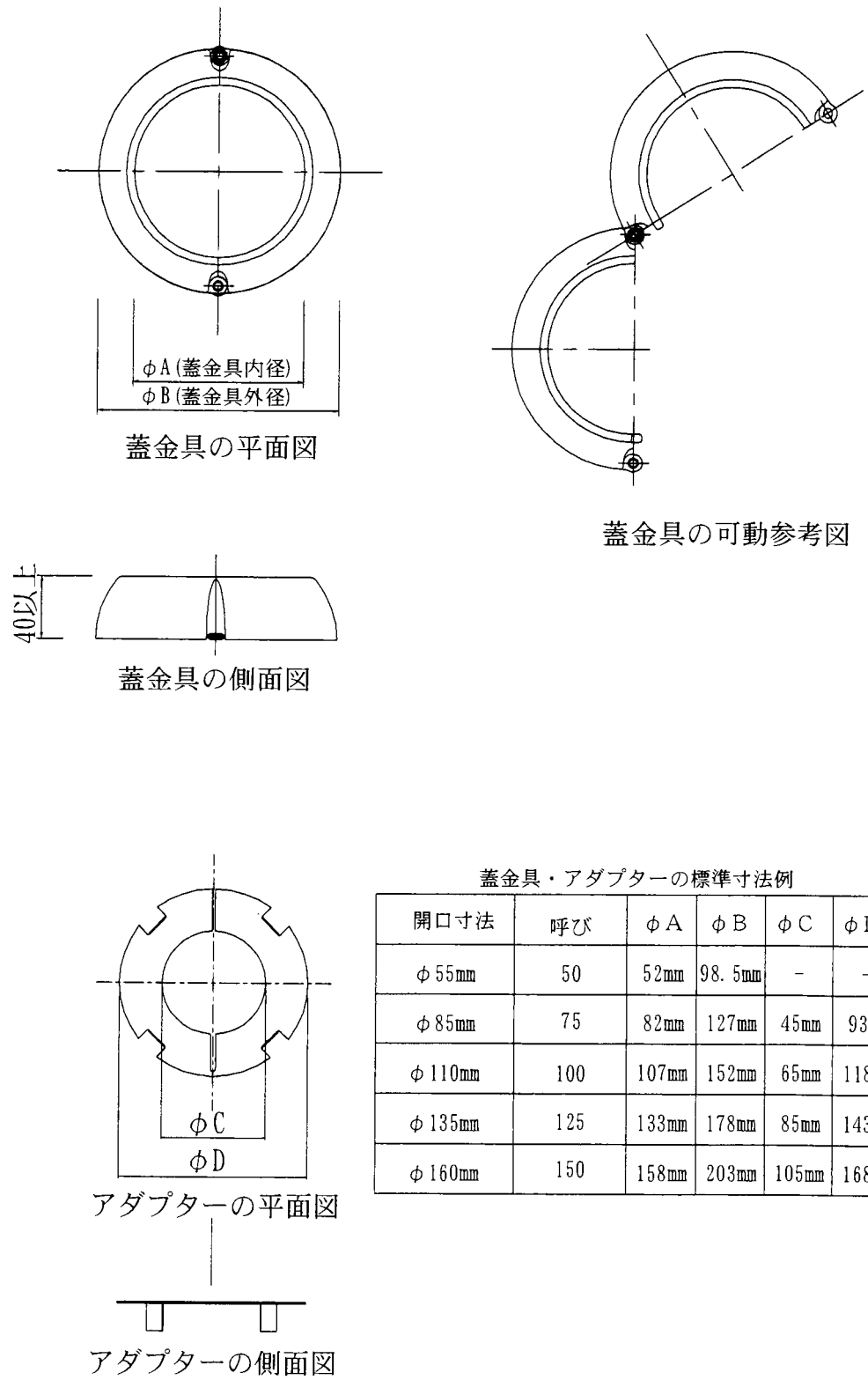


図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図3に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 貫通穴の設定

コアドリル等を用いてφ160mm以下の貫通穴を設ける。

(2) スリーブの挿入 (中空床構造の場合)

区画貫通孔に金属製スリーブを挿入する。(金属製スリーブの長さは床厚と同じ。)

(3) 配管及びケーブル(電線)の設置

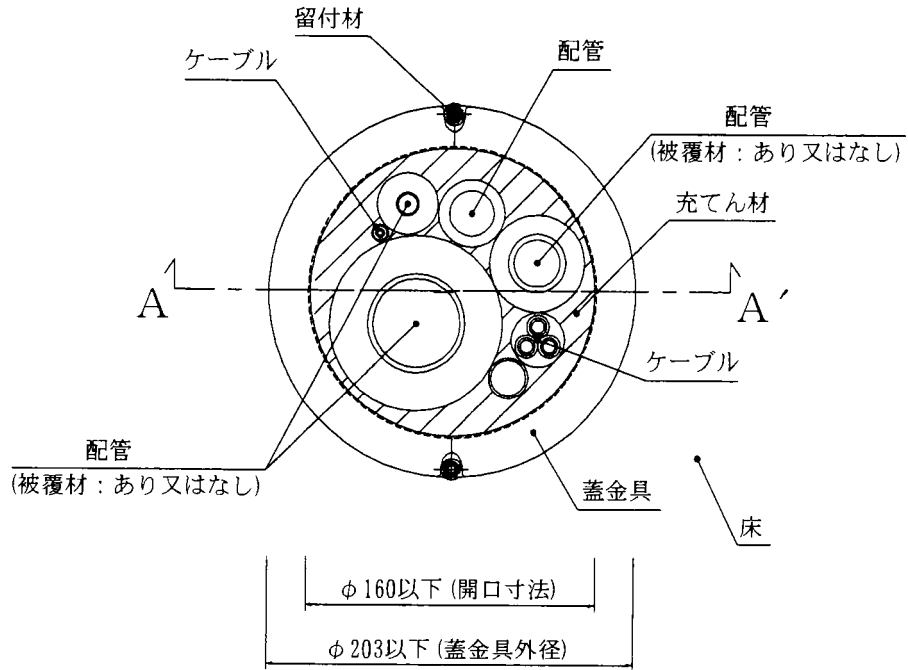
配管及びケーブル(電線)を設置して支持・固定する。

(4) アダプター、蓋金具の取り付け

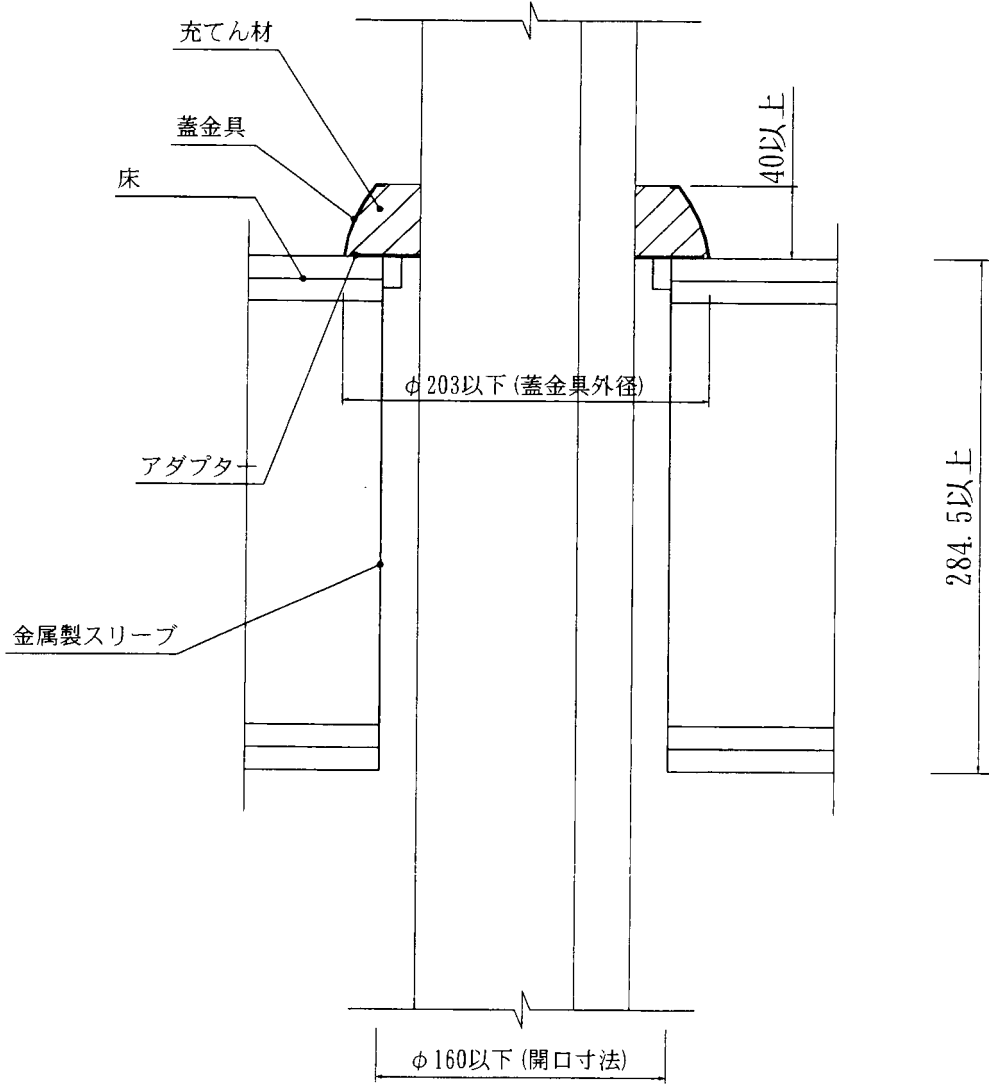
アダプター、蓋金具を開き、配管及びケーブルを金具の中に入れ込んで留付材を用いて固定する。
(床の片面に処置を行う)

(5) 充てん材の充てん・仕上げ

充てん材を金具の内部に密に充てんし、隙間が無く面一であることを確認し、脱落しないように仕上げる。



平面図



A-A' 断面図

(中空床等の例)

図3 施工図